



特集

# ～第80回建設業講演会開催のお知らせ～

北海道建設業信用保証㈱では、公共工事の適正な施工並びに建設産業の健全な発展に資することを目的として、建設業講演会を開催いたします。開催の詳細については、以下のとおりです。皆様のご来場をお待ちしております。

## 【第80回建設業講演会概要】

○日 時：2023年11月7日（火） 14:30～16:00（受付 13:30～）

○場 所：北海道経済センター8階Aホール（札幌市中央区北1条西2丁目）

○入 場 料：無料

○定 員：200名

○プログラム：

開会 主催者挨拶

講演『最近の建設業をめぐる諸問題』

講 師 楠田 幹人 氏

【国土交通省大臣官房審議官（不動産・建設経済局担当）】

略 歴 平成4年建設省入省、茨城県副知事、道路局路政課長、都市局都市計画課長、大臣官房人事課長、大臣官房審議官（住宅局担当）を経て、令和5年7月より現職

閉会

○主 催：北海道建設業信用保証株式会社

後 援：北海道開発局

北海道

一般社団法人 北海道建設業協会

一般社団法人 北海道舗装事業協会

ご来場希望の際は、お手数ですが受講申込書【第80回建設業講演会のご案内（PDFファイル 262KB）】に必要事項を記入のうえFAX（011-222-6288）にてお申込みください。

締め切りは2023年10月31日（火）です。

問い合わせ：北海道建設業信用保証株式会社 総務企画部（011-231-4489）



# ～Instagramでみる道内助成事業～

北海道建設業信用保証㈱は、職員有志で運営するInstagramアカウント「HCSインスタ部 (@hcs.instaclub)」にて、当社の担い手確保助成事業のひとつである「現場見学会」の様子を、(一社)北海道建設業協会と協働し、取り上げました。

## 【二セコ地区光栄工区区画整理工事（横関建設工業株式会社）】



7月4日、二セコ町にて開催されました。対象は倶知安農業高校の生徒です。生徒たちにはi-Constructionの概要を聞いてもらった（写真左）のち、実際に現場に赴き、工事の概要説明および現場見学（写真中央・右）をしていただきました。

## 【旭川市土木事業所での体験会】



7月18日、旭川にて開催されました。対象は富沢小学校5・6年生と知新小学校6年生です。児童たちには除雪機械等の説明および試乗（写真左）、高所作業車の試乗（写真中央）、ドローンによるデモ飛行（写真右）を体験していただき、建設業の役割について学んでいただきました。

URL : <https://www.instagram.com/hcs.instaclub/>

右のQRコードを読み込んでいただくと、

お手持ちのスマートフォン・タブレットで詳しくご覧いただけます。

フォロー・いいね・コメントお待ちしております！



# 建設関連ニュース

## ●国土強靱化基本計画の改訂版を閣議決定（政府）

7月28日、政府は国土強靱化基本計画の改訂版を閣議決定した。国土強靱化を推進するうえでの基本的な方針として既存の「国民の生命と財産を守る防災インフラ（河川・ダム、砂防・治山、海岸等）の整備・管理」、「経済発展の基盤となる交通・通信・エネルギーなどライフラインの強靱化」、「災害時における事業継続性確保を始めとした官民連携強化」に加え、「デジタル等新技術の活用による国土強靱化施策の高度化」、「地域における防災力の一層の強化（地域力の発揮）」を追加し、5本柱とした。デジタル化では現場でのロボット・ドローン・AI等の活用、防災力の強化では発災時の対応を行う建設業者等の担い手確保対策などが盛り込まれている。

## ●建設業法令順守ガイドラインを改訂（国交省）

国土交通省は、元請け・下請け間の請負契約を対象とした「建設業法令順守ガイドライン」と「発注者・受注者間における建設業法令順守ガイドライン」を6月30日付で改訂した。改訂内容は、労務費や原材料価格といったコスト上昇局面下における取引価格の据え置きは独占禁止法の問題になる可能性があると公正取引委員会が示した内容を反映させたもの。また、建設工事を含むすべての取引が対象となる下請振興法の記述も追加した。

## ●2024年度予算の概算要求（国交省）

8月24日、国土交通省は、2024年度予算の概算要求を発表した。一般会計の国費総額は前年度比19.1%増の7兆389億円を求め、うち公共事業関係費は19.0%増の6兆2,909億円を求めている。

## ●2024年度道開発予算の概算要求を発表（北海道局）

8月24日、北海道局は、2024年度北海道開発予算の概算要求を発表した。一般公共事業費に当たる北海道開発事業費は、国費で前年度当初比20.3%増の6,726億円、推進費等を除く事業費で20.0%増の8,459億円を求めている。

## ●8月末の道内建設業許可業者増加（開発局、道）

北海道開発局と北海道は、2023年8月末の道内建設業許可業者数をまとめた。知事・大臣許可の合計は1万9,458者で、前月から11者増となった。内訳は大臣許可が前月1者減の159者、知事許可が前月12者増の1万9,299者となっている。

## ●CCUSカードリーダーに履歴一時保存（建設業振興基金）

7月31日、建設業振興基金は、建設キャリアアップシステム（CCUS）の利用者に無償提供している就業履歴アプリ「建レコ」を改修し、新たにロギング機能を搭載した。これにより、カードリーダー本体に就業履歴を一時保存し、現場の管理者が事務所にてパソコンやiPad、iPhoneに接続することでCCUS上に就業履歴が蓄積することができる。戸建て住宅工事をはじめとする小規模現場のほか、山奥の現場など通信環境が整備されていない現場においても利用が推奨される。なお、現在は最新のファームウェア搭載のWindows版Dragon\_BLEのカードリーダーに限定される。

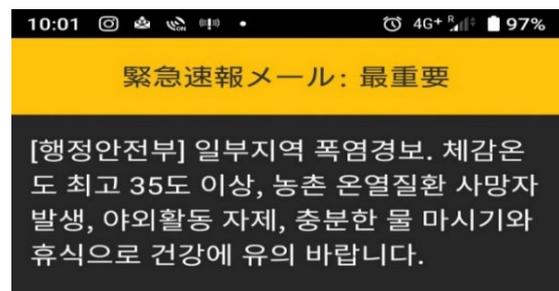
## ●年内にも電子契約導入、発注3部は先行実施（道）

北海道は、2023年度から電子契約を導入する。スマート道庁を推進する観点から、道では2021年度から電子契約の導入に向けた検討を開始していた。昨年12月から今年1月にかけて実証実験を実施しており、発注3部と出納局の職員が操作性を確認。道庁として導入可能と判断し、導入を決定した。業務フロー検討、財務・契約規則といった関係規程改正など準備が整い次第、発注3部と出納局にて先行的に取り組み、順次他部署へ広げていく。

## ●道建設部と北保証が意見交換会を開催

8月8日、道建設部と北海道建設業信用保証（株）は、ホテルポールスター札幌にて意見交換会を開催した。道建設部は来年度から適用の建設業における罰則付き時間外労働上限規制や、担い手の確保などの課題に触れ、各取組みについて話題を提供した。北保証は2023年度保証事業重点推進方針や保証業務取扱状況、証書の電子化などについて説明した。

私 H.S は、この夏7月の末に家族でソウルに旅行に行きました。この時期、韓国は、酷暑・局地豪雨・地震と旅行をゆっくり楽しむのにはとんでもない気象状況で、おかげで、連日、各官署からの緊急警報を受信し、一日に何度もスマホが鳴り響くという貴重な体験をしました。下記は、行政安全部からの警報で「一部地域に暴炎警報。体感温度35度以上。農村で熱射病死者。野外活動自制し、水をよく飲み健康に注意」タイトルは日本語で内容はハングル。理解するまでは、結構慌てふためきます。国のおかれている状況か、各行政官署がそれぞれ頻りに発信、その度に旅行気分が吹き飛ばも4日たつと慣れてしまうのも不思議な経験でした。

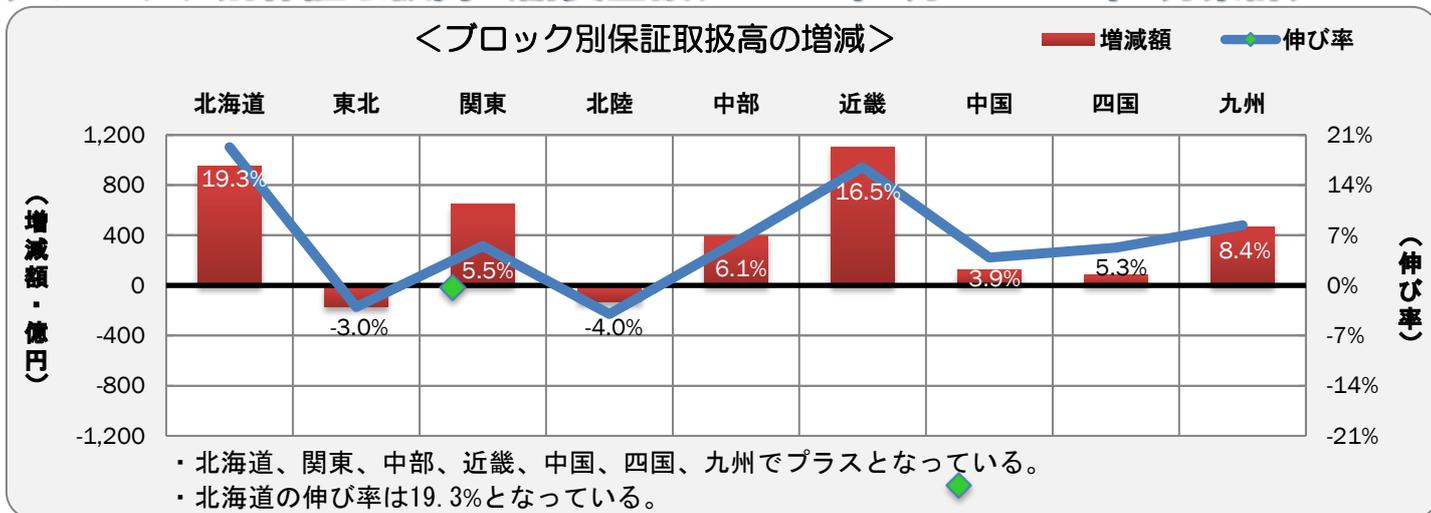




# 一目でわかる建設業データ

## 数字でみる公共工事

### ◇ブロック別保証取扱高（請負金額、2023年4月～2023年6月累計）



### ○請負金額6月累計額（3保証事業会社調べ）

（金額単位：百万円）

	請負金額	構成比	前年同期比較	
			増減額	伸び率
北海道	587,372	11.2%	95,023	19.3%
東北	555,591	10.6%	-17,183	-3.0%
関東	1,243,026	23.6%	64,802	5.5%
北陸	320,443	6.1%	-13,352	-4.0%
中部	684,910	13.0%	39,377	6.1%
近畿	778,602	14.8%	110,274	16.5%
中国	323,638	6.1%	12,148	3.9%
四国	168,351	3.2%	8,474	5.3%
九州	603,156	11.5%	46,739	8.4%
全国	5,265,092	100.0%	349,040	7.1%

## 北海道の建設業景況調査（2023年度第1回・4月～6月）

### ◇調査の概要

#### ＜調査目的＞

北海道の建設企業の経営動向調査を行い、建設業のおかれている状況を総合的に迅速かつ的確に把握することを目的としています。

#### ＜調査対象＞

当社と取引関係にある建設企業の中から、地区別、業種別、規模別の分布状況を考慮して、建設業の経営動向を反映するに足りると認められる企業を対象としています。

2023年度第1回の回答企業数は239社（調査対象254社、有効回答率94.1%）です。

業種別	回答企業数	完工高別	回答企業数
土木	118	3億円未満	30
建築	21	10億円未満	66
土木・建築	70	30億円未満	99
設備	30	30億円以上	44
合計	239	合計	239

#### ＜B.S.I.とは＞

この建設業景況調査は、景気等に関して個々の建設企業の意識調査を行ったものです。この意識調査の結果を数値化して表したものが、B.S.I.（ビジネス・サーベイ・インデックス＝景況判断指数）です。

#### ＜B.S.I.の求め方＞

景況調査の集計結果から、以下の方法によりB.S.I.が求められます。

$$B.S.I. = ([\text{良い} \cdot \text{やや良い}] \text{と回答した企業割合} - [\text{悪い} \cdot \text{やや悪い}] \text{と回答した企業割合}) \times 1/2$$



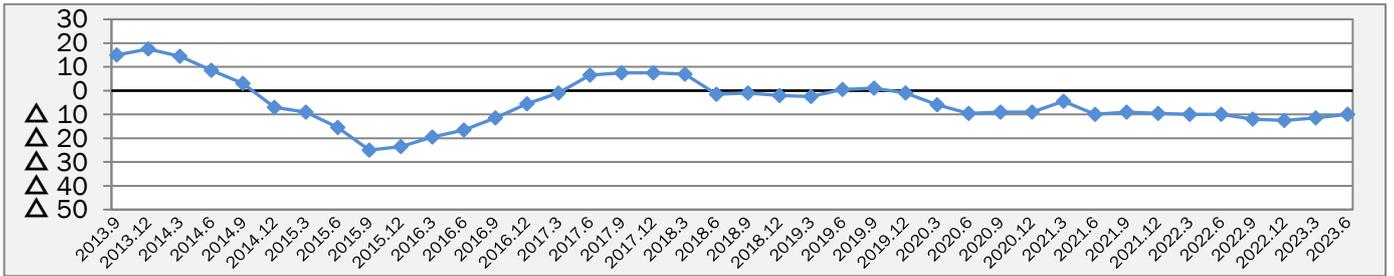
# 概観

[前期]-2023年1月～3月、[今期]-2023年4月～6月、[来期]-2023年7月～9月(見通し)

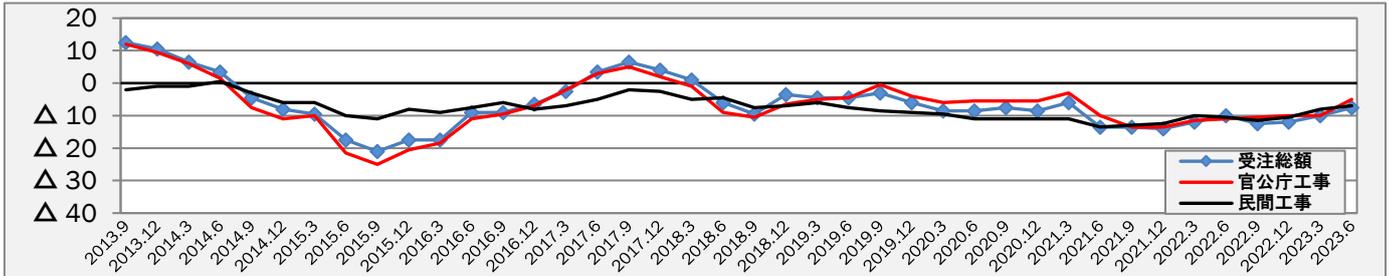
項目 (※印は季節調整項目を示す。)	B.S.I.値の傾向	前期 B.S.I.値	今期 傾向と推移 (前期に比べた今期の状況)	B.S.I.値	来期 傾向と推移 (今期に比べた来期の状況)	B.S.I.値	
	プラスの傾向 マイナスの傾向						プラスの傾向 マイナスの傾向
(1)業況等 地元建設業界の景気※	良 悪	11.5	悪い傾向が続いている	10.0	悪い傾向が続く見通し	11.0	
(2)受注 受注総額※	増 減	10.0	減少傾向がやや弱まっている	7.5	減少傾向が続く見通し	9.5	
	官公庁工事※	増 減	10.0	減少傾向が弱まっている	5.0	減少傾向が強まる見通し	10.5
	民間工事※	増 減	8.0	減少傾向が続いている	7.0	減少傾向が続く見通し	8.5
(3)資金繰り※	容 厳	4.0	容易傾向が続いている	4.0	容易傾向が続く見通し	3.5	
(4)金融 銀行等貸出傾向	容 厳	7.5	容易傾向が続いている	7.0	容易傾向が続く見通し	7.0	
	短期借入金※	増 減	2.0	減少傾向が続いている	1.0	減少傾向が続く見通し	0.5
	短期借入金金利	上 下	0.0	上昇傾向と下降傾向が均衡を保っている	0.0	上昇傾向に転じる見通し	1.5
(5)資材 資材の調達※	容 困	14.5	困難傾向が続いている	13.0	困難傾向が続く見通し	11.0	
	資材価格	上 下	34.5	上昇傾向が続いている	35.5	上昇傾向がやや弱まる見通し	33.0
(6)労務 建設労働者の確保※	容 困	25.5	困難傾向が続いている	26.0	困難傾向が続く見通し	26.5	
	建設労働者の賃金	上 下	27.5	上昇傾向が強まっている	34.0	上昇傾向が弱まる見通し	29.0
(7)収益※	増 減	17.5	減少傾向が弱まっている	11.5	減少傾向が続く見通し	13.0	

## B.S.I. (ビジネス・サーバインデックス=景況判断指数) の推移

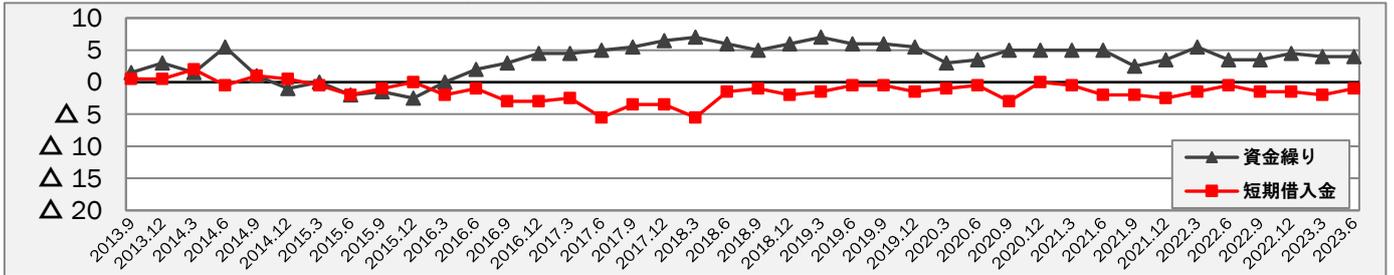
○地元建設業界の景気 (B. S. I. 季節調整済)



○受注 (B. S. I. 季節調整済)



○資金繰り・短期借入金 (B. S. I. 季節調整済)



○収益 (B. S. I. 季節調整済)

